

ふるさと滝沢歳時記

「人口日本一の村」から「住民自治日本一の市」へ



平成24年1月22日
滝沢ふるさと会総会・交流会



山田町の三陸やまだ漁協の協力により行われました

平成 23 年 2 月 26 日

「山田町との絆を深め～諸葛川でサケの稚魚放流」

サケ稚魚の放流事業が 2 月 26 日、諸葛橋付近で開催されました。

山田町の三陸やまだ漁協から約 1 万匹の稚魚の提供を受け実施。参加した子ども会の子どもたちは、県さけ・ます増殖協会や県釣りインストラクターの皆さんのお話を興味深く聞いた後、声をかけながら稚魚を放流していました。





滝沢村は、「村」から「市」を目指すこととなりました

平成 23 年 3 月 11 日

「行政体制のあり方を～行政体制調査研究会開催」

第 3 回滝沢村行政体制調査研究会が 3 月 11 日、役場会議室で開催されました。研究会は、今後の地方分権と地域主権時代に対応した基礎自治体のあり方を研究し人口 5 万人の滝沢村に適した行政体制を考えるために設置されました。

今までの調査研究報告を行い、滝沢村は「村」から「市」を目指すこととなりました。



滝沢村が「村」から「市」を目指す動きは大変注目され、テレビ局や新聞社など報道機関もたくさん取材に訪れました。研究会が終了し、柳村村長が記者会見を行う直前の午後 2 時 46 分、東日本大震災が発生しました。



山田町の皆さんに豚汁を炊き出し

平成 23 年 4 月 3 日

「山田町で炊き出しを～鶺鴒商工振興会の皆さん」

鶺鴒商工振興会（中島恒夫会長）の皆さんが4月3日、山田町の豊間根中学校で被災された皆さんに豚汁を提供しました。

同会の皆さんは、温かい食事で少しでも元気を出してほしいとの思いを胸に山田町に向かい、豚汁の炊き出しのほか、励ましのメッセージを書いた寄せ書きもプレゼントしました。





チャグチャグ馬コで出会った皆さんと

平成 23 年 5 月 23 日

「馬コがつなぐ心の絆～高松ゆたか絵画展が開催」

福島県出身で東京都在住の画家高松ゆたかさん（滝沢ふるさと会・会員）のチャグチャグ馬コ絵画展が5月23～30日の8日間、滝沢ふるさと交流館で行われました。

高松さんご本人をお迎えした開会式が23日、同館で開催。高松さんは、「絵画を通じて、チャグチャグ馬コを応援していきたいです」と話していました。





復興を願い5校が合同演奏

平成 23 年 6 月 4 日

「復興願い合同演奏会～滝沢総合公園芝生広場で」

滝沢村教育委員会主催の第2回滝沢村吹奏楽ジョイントコンサートが6月4日、滝沢総合公園ロックガーデン前芝生広場で開催されました。

盛川教育長は、「このコンサートが被災地の皆さんに元気と勇気を届けることができる復興支援のひとつとなることを願っています」とあいさつしました。





農耕馬による馬耕が行われました

平成 23 年 6 月 5 日

「大沢地域の宝を体験～歴史や文化を観光資源に」

大沢地域まちづくり推進委員会主催による「大沢まるごと体験ツアー2011」が6月5日、南部曲り家「藤倉邸」で行われました。

体験ツアーは、地域にある茅葺き（かやぶき）の南部曲り家とチャグチャグ馬コなどの地域の歴史・文化の宝を守り伝えながら、観光と交流人口の増加を目指して開催。馬を使った昔の農作業を再現し、農耕馬による馬耕や田植え、子どもたちが挑戦する農作業体験、チャグチャグ馬コミニパレード、大沢田植え踊りと大沢さんさ踊りなどが行われました。





被災地復興を願いチャグチャグ馬コ行進

平成 23 年 6 月 11 日

「がんばろう！いわて～馬コが鈴の音響かせ行進」

初夏の風物詩のチャグチャグ馬コ行進が6月11日に開催されました。

約90頭のチャグチャグ馬コは、被災地復興を願い横断幕「広げよう支援の輪～想いはひとつ盛岡広域8市町村」を掲げ、チャグチャグと鈴の音を響かせ行進しました。





県大会優勝と全国大会出場を報告しました

平成 23 年 6 月 17 日

「竹の子スポ少県優勝～全日本大会で初戦を突破」

竹の子スポーツ少年団（工藤勤監督）が6月11日に行われた高円宮賜杯第31回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント県予選大会で初優勝。選手の皆さんが6月17日、柳村村長らに県大会優勝と全国大会出場の抱負などを話しました。

同チームは、8月に東京都・神宮球場などで行われた全日本大会で、熊本県代表チームに2-1で勝利し、県代表として2年ぶりに初戦を突破することができました。





約 500 人の登山隊が復興を願って岩手山の山頂へ

平成 23 年 7 月 1 日

「山開き復興祈願登山～岩手山でたなびく大漁旗」

東日本大震災で亡くなられた皆さんへの追悼と被災地復興を願い、岩手山山開きと復興祈願登山が7月1日、滝沢村（ことしの幹事市町村）と八幡平市、雫石町の3市町村で行われました。

約 500 人の登山隊が県内すべての 34 市町村旗や自衛隊、警察、消防などの関係機関や沿岸地区の大漁旗を掲げながら行進し山頂に到着し、沿岸被災地の復興を願って「がんばろう宣言」が行われました。





なでしこジャパン世界一に輝く！

平成 23 年 7 月 18 日

「滝沢応援団が大歓喜～なでしこジャパン世界一」

第 6 回女子ワールドカップ（W杯）ドイツ大会決勝戦のテレビ応援会が 7 月 18 日、村公民館で行われました。

本村出身岩清水梓選手の祖父母の岩清水奨さんと絹子さんなど 100 人を超える滝沢村応援団の皆さんがなでしこジャパンを応援。岩清水梓選手などの活躍により、なでしこジャパンが世界ランキング 1 位のアメリカを PK 戦で破り、初優勝・世界一に輝きました。





帰ってきた岩清水梓選手とふれあい交流会

平成 23 年 8 月 8 日

「故郷滝沢で優勝報告～帰ってきた世界一梓選手」

岩清水梓選手は8月8日、滝沢総合公園体育館で開催された優勝報告会に出席しました。県内女子サッカー選手など約400人が、憧れの岩清水梓選手に会うために会場に集まりました。

サッカー交流会に参加した小学生や中学生、高校生の選手の皆さんは憧れの岩清水梓選手からプレゼントを贈られ、記念写真を撮影するなど喜びと感動の一日でした。





スイカ割り大会も行われました

平成 23 年 8 月 12 日

「夏の朝市を楽しんで～スイカまつりに 3 千人超」

第 5 回たきざわ朝市～夏の陣「滝沢スイカまつり」が 8 月 12 日、村役場前駐車場で行われ例年を大きく上回る 3 千人を超える皆さんが参加しました。

まつりでは、村の農産物や特産品などの販売・PRなどが行われ、参加した皆さんは夏の朝市を楽しみました。





村川総務省課長補佐（元滝沢村助役）が講演

平成 23 年 8 月 20 日

「地域の想いを未来に～市制フォーラムたきざわ」

市制フォーラムたきざわが8月20日、岩手県立大学で行われ約550人の皆さんが参加しました。村が平成26年1月からの市制移行を目指すにあたり、講演やワークショップなどを通じ市制移行への理解を深めながら住民意識の醸成を目指して開催。フォーラムでは、村内3大学（県立大学と盛岡大学、岩手看護短期大学）による研究発表や村川勝司総務省大臣官房総務課長補佐（元滝沢村助役）の講演、世代ごとによるワークショップ、市制標語コンクール表彰式も行われました。





優良賞を受賞した滝沢第二中学校の大久保さん

平成 23 年 9 月 22 日

「中学生弁論県大会で～大久保さんが優良賞受賞」

わたしの主張岩手県大会が9月22日、滝沢南中学校で行われ県内各地区の予選を勝ち抜いた中学生弁士18人が出場しました。大久保憲幸さん（滝沢第二中学校3年生）は「助け合って生きていきたい」を発表し、東日本大震災で亡くなった祖母との絆などを伝え、優良賞を受賞。鹿糠美咲さん（滝沢南中学校3年生）は「子ネコが教えてくれたこと」を発表し、生まれながら病気と障がいがある子ネコから努力することの大切さを学んだことを発表。滝沢南中学校の皆さんによる吹奏楽演奏、全校合唱も披露されました。





秋の夜空を彩る花火大会

平成 23 年 10 月 1 日

「家族みんなで盛大に～大にぎわいの産業まつり」

第 29 回滝沢村産業まつりが 10 月 1～2 日の両日、村役場駐車場を主会場に開催されました。

会場には村内企業の出店が並び、来場した皆さんは村内の生産物や商品を見て回って品定めをしたり、おいしい食事に舌鼓を打ったり、村PR推進員の校伯を触れ合うなど思い思いに楽しんでいました。1 日夜には秋の夜空を彩る花火大会も行われました。





滝中女子が初優勝に輝きました

平成 23 年 10 月 7 日

「県中学校駅伝大会で～滝中女子が初優勝全国へ」

岩手県中学校体育連盟など主催の第 26 回岩手県中学校駅伝競走大会が 10 月 7 日、花巻広域公園で行われました。

地区予選を勝ち上がった女子 41 校、男子 40 校が出場し女子は滝沢中学校が県大会初優勝に輝きました。

同チームは、11 月の東北大会（青森県）と 12 月の全国大会（山口県）にも出場し力走を繰り広げました。





滝沢中学校OBの岩手ビッグブルズの山本吉昭キャプテン

平成 23 年 10 月 8 日

「bj リーグの開幕戦～村出身の山本選手を応援」

㈱岩手スポーツプロモーション「岩手ビッグブルズ」は、日本プロバスケットボールリーグに新規参入し岩手県内を拠点に活動を展開。同チームは、10月8日のbjリーグの開幕戦（VS 仙台 89ERS・岩手県営体育館）に出場しました。

本村出身でキャプテンを務める山本吉昭選手は、「東日本大震災でたくさんの皆さんが元気をなくしています。バスケットボールの力で少しでも岩手に勇気をお届けすることができれば」と話しました。





山田町の皆さんに大沢さんさ踊りを発表

平成 23 年 10 月 23 日

「大沢地区の皆さんが～山田町との絆いつまでも」

大沢地域まちづくり推進委員会の皆さんが 10 月 23 日、山田町を訪れました。同委員会が 6 月に行った大沢まるごと体験ツアーで植えたお米やサツマイモなどが山田町の皆さんに振舞われました。

また、大沢さんさ踊りの披露やチャグチャグ馬コとの交流会なども行われ、両町村の皆さんの交流と親睦が深められました。





ミュージカル「ピーター・パン」の公演

平成 23 年 11 月 3 日

「子どもミュージカル～劇団ゆうが芸術祭で公演」

芸術祭たきざわ ‘2011 の演劇部門参加作品「NPO 法人劇団ゆう（理事長 菊田悌一）子ども組第 11 回定期公演」の公演が 11 月 3 日、ふるさと交流館で開かれました。公演では、ミュージカル「ピーター・パン」が上演され、訪れた皆さんは、子どもたちの演技と歌声を楽しんでいました。





馬コが宮崎県の皆さんとふれあいました

平成 23 年 11 月 6 日

「チャグチャグ馬コが～海を越え宮崎で文化交流」

チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部の皆さんが11月6日、宮崎県綾町の「綾競馬」でPR活動を行いました。

馬事文化の根付く同町の「綾競馬」に参加し、広域での文化交流と馬事文化への理解を深めるために行われ、チャグチャグ馬コは、競馬の合間に馬場を行進し多くの人の声援を受けました。また、写真撮影会も行い、宮崎の皆さんにチャグチャグ馬コを紹介し、多くの人とふれあいました。





羽ばたけ！サブマリン三浦投手

平成 23 年 11 月 24 日

「羽ばたけサブマリン～S B三浦投手が村長訪問」

日本一に輝いたプロ野球チーム・福岡ソフトバンクホークスからドラフト育成
成卒 3 位指名を受けた三浦翔太投手が 11 月 24 日、村長に抱負を語りました。

三浦投手は、鶉飼小学校から滝沢南中学校（滝沢いわてリトルシニアにも所
属）、盛岡大学附属高校、岩手大学教育学部へと進み、下手投げのサブマリ
ンピッチャーとして活躍し、東北の国公立大で初のドラフト指名を受けました。

柳村村長は、「いつか西武ライオンズの菊池雄星投手と岩手県出身同士の対
決で滝沢村のみならず岩手県の皆さんを喜ばせてほしい」と激励しました。





県連続優勝に輝いた滝二中女子剣道部の岩手地区大会での試合

平成 23 年 12 月 1 日

「滝二中女子の剣道部～県中体と県新人連続優勝」

平成 23 年度第 31 回岩手県中学校新人大会剣道競技が 11 月 19～20 日、岩手県営武道館で行われ、滝沢第二中学校女子剣道部が優勝（2 年ぶり 2 度目）し 7 月の県中総体に引き続き連続優勝に輝きました。

同部の皆さんが 12 月 1 日、村役場を訪れ南副村長と盛川教育長に報告。岩間主将は、「みんなで力をあわせて勝利することができとてもうれしいです。来年の県中総体でも勝利し三大会連続優勝を目指したいです」と力強く語りました。





市制移行やまちづくりについて語り合いました

平成 23 年 12 月 9 日

「市制移行を話し合う～南巢子保育園で対話集会」

南巢子保育園・子育て支援センター（太田マリ子園長）の保護者と関係者の皆さんとのお気軽トークが12月9日、同園内で行われました。

30人を越える皆さんが参加し、滝沢村が目指す市制移行やまちづくりの充実などを語り合いました。参加者の皆さんからは、「市になることで子育て支援や教育が充実するようになればよい」や「滝沢スイカなどの農産物や特産品を全国に向けてPRしてほしい」などとの意見がありました。





校伯も参加し新成人の門出を祝う

平成 24 年 1 月 9 日

「感謝の気持ちを胸に～友と再会し笑顔の新成人」

滝沢村成人式が 1 月 9 日、村総合公園体育館で行われました。

式は、村内の中学校出身者で構成される実行委員 20 人が中心となり企画運営し、開催。新成人代表の佐々木駿さんは「どこへいっても、ふるさと滝沢を忘れず頑張っていきたい」と力強く成人者の言葉を述べました。

また、滝沢村有馬・チャグチャグ馬コの里滝沢村 PR 推進員の校伯（こうはく）が、チャグチャグ馬コの装束に身をつつみ、新成人の門出を祝いました。





佐渡ヶ嶽部屋に入門する工藤良平君

平成 24 年 1 月 13 日

「佐渡ヶ嶽部屋へ入門～盛農相撲部の工藤良平君」

盛岡農業高校相撲部元主将の工藤良平君（3年）が1月13日、村長に大相撲佐渡ヶ嶽部屋（佐渡ヶ嶽親方・琴ノ若元関脇）への入門報告をしました。

工藤君は岩泉町出身で身長177センチ体重105キロの体格を活かした四つ相撲（右四つに組んでからの左上手投げ）が得意。主将として31年ぶりの県高総体団体戦優勝とインターハイ・国体出場に貢献し蒼前神社チビッコ相撲大会で模範相撲を披露し青少年リーダー研修会に参加するなど地域活動にも参加。同部屋に入門し四股名は「琴工藤」として平成24年の夏場所から番付に載ります。





ふれあいトークで岩清水梓選手と語り合いました

平成 24 年 1 月 16 日

「名誉村民の称号贈呈～サッカーで勇気と感動を」

岩清水梓選手への名誉村民称号贈呈式が1月16日、滝沢ふるさと交流館で開催されました。

村内小中学校サッカーチームの子どもたちなど約 350 人が、憧れの岩清水梓選手に会うために会場に詰め掛けました。柳村村長から名誉村民章と記念品の腕時計が贈られました。

贈呈式後は集まったサッカーチーム代表の7人との「ふれあいトーク」や参加した子どもたちとのサイン会も行われました。





災害に強い安全安心なまちづくりと

沿岸被災地の復興再生を目指して

岩手県滝沢村